



文責 本宮小校長 佐久間仁

ふくしま学力調査から

五月十一日(木) 四～六年生を対象にふくしま学力調査が行われました。このたびその結果がまとまりましたので、本校の概要についてお知らせします。

〈調査内容〉

- ①教科に関する調査(国語、算数)
- ②児童質問調査



【教科に関する調査について】

○国語科

四年生は県平均より高い結果でした。領域別では「情報の扱い方」「読む」「話す・聞く、書く」「言葉の特徴や使い方」の全てにおいて県平均を上回りました。設問別では「漢字を筆順通りに正しく書く」「同音異字の漢字を文脈に即して正しく使う」などが県平均を上回りました。一方で「修飾、被修飾の関係を理解する」「語句の意味

を理解する」などが県平均を下回りました。

五年生は県平均より低い結果でした。領域別では「情報の扱い方」「読む」「話す・聞く、書く」「言葉の特徴や使い方」のいずれにおいても県平均を下回りました。設問別では「呼応の副詞を理解し、適切に使う」「言葉の意味を理解し、適切に使う」などが県平均を上回りました。一方で「漢字の部首を理解する」「登場人物の言動から物語の内容を読み取る」などが県平均を下回りました。

六年生は県平均より高い結果でした。領域別では「話す・聞く、書く」「言葉の特徴や使い方」「読む」「情報の扱い方」の全てにおいて県平均を上回りました。設問別では「文の構成を理解する」「文脈に即して漢字を正しく読む」などが県平均を上回りました。一方で「登場人物の心情を読み取る」「慣用句の意味を理解し、適切に使う」などが県平均を下回りました。

○算数科



四年生は県平均より高い結果でした。領域別では「数と計算」「図形」「測定」が県平均を上回りました。「データの活用」は県平均を下回りました。設問別では「簡単な場合について分数の減法の計算ができる」「角について理解している」

などが県平均を上回りました。一方で「二次元表を完成させ、その特徴などを読み取ることができる」などが県平均を下回りました。

五年生は県平均より低い結果でした。領域別では「図形」「数と計算」「変化と関係」「データの活用」のいずれにおいても県平均を下回りました。設問別では「四捨五入した整数から四捨五入する前の整数を求めることができる」「伴って変わる二つの数量の表し方を考えることができる」などが県平均を上回りました。一方で「余りのある除法の場面において、被除数を求める式について理解している」「小数に整数をかける乗法計算ができる」などが県平均を下回りました。

六年生は県平均より高い結果でした。領域別では「データの活用」「変化と関係」「数と計算」「図形」の全てにおいて県平均を上回りました。設問別では「小数の計算のしかたを考え、正しい答えを求めることができる」「複数の帯グラフを比べることができる」などが県平均を上回りました。

【児童質問調査について】



「けじめのある生活」の「身の回りの整理整頓をする(靴をそろえ、整理整頓)」、「約束やきまりを守る」の「生活のきまりを守る(掃除・

美化活動)」の達成度がいずれの学年も高い結果でした。一斉清掃や分担清掃などへの取り組みを通して、校舎内をきれいにしようとする意識が高いことがうかがえます。「礼儀正しく人と接する」の「進んであいさつや返事をする(あいさつ)」「ていねいな言葉づかいを身に付ける(やさしい言葉づかい)」も全ての学年で県平均を上回りました。児童会を中心としたあいさつ運動への取り組みなどを通して、進んであいさつをしようとする意識の高まりが感じられます。困っている人に対する優しさも身に付いていることがうかがえます。

一方で「約束やきまりを守ることができる」の「学習のきまりを守る(話を聞き発表する)」は、学年によって差がみられる結果となりました。対話的な活動場面を意図的に設けることで、表現力、コミュニケーション力を育成することが必要と考えます。「生活のきまりを守る(集団の場での態度)」においても、学年差がみられるので、基本的な学習習慣、生活習慣を丁寧に指導するとともに、互いに高め合うことができる学習集団づくりを目指してまいります。

なお、詳しくは先日配付しました個人結果票並びに保護者用リーフレットをご確認ください。